

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2009年7月31日	2009年7月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

## 報告要旨

### 1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別 犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

#### A, 一般的傾向

政府の発表によると 2009 年度上半期の軽犯罪件数（空き巣、暴力行為）が増加しています。これにより 2002 年以来わずかながら下降をたどってきた傾向に終止符が打たれました。前年比率で空き巣・暴力行為が 7%増加（盗みを目的にしない暴力が 4%上昇）。6 月までの過去 1 年間の空き巣件数は 10.22%の上昇を示しました。このような傾向の原因として昨年来の経済的な不況がその原因のひとつではないかと推測されています。（プログレ紙 7 月 17 日）

#### [補足文書 1]

#### B, 地区別 治安情報集計結果

リヨン市警察及び国家警察は今年も、バカンスで不在の家・アパートを特別に警戒する「サービス」を実施しています。このサービスは今年ですでに 8 年目で、最寄の市警察(Police Municipale)または国家警察(Police Nationale)に登録しておく定期的に巡回してもらえます。同サービスは 9 月 3 日まで実施され、この巡回には、バカンスシーズン中に近隣に一人暮らしの老人などがいないかといった、訪問調査も含まれています。警察への訪問依頼の登録には、住所を証明する書類の提示が必要です。（プログレ紙 7 月 21 日）

このサービスを利用した Villeurbanne の住民の数は昨年 126 人、一昨年は 180 人に達しています。毎日の巡回は不可能ですが、巡回した場合、そのメモが郵便受けなどに残されます。（プログレ紙 7 月 6 日）

## 2009年7月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣			2		2		1			2			1	1			9
置き引き													1				1
引ったくり		1															1
万引き			2														2
強盗								3		4		1		1			13
窃盗(車・自転車)										6	1	1	5				0
カージャック																	0
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	1	2			2	3	1	2	4	1	1	1				20
詐欺(カードなど)							1			4							5
拉致、誘拐																	0
破損・放火										1	1						2
ストーカー																	0
麻薬取引・所持										1						1	2
飲酒／無免許運転																	0
夫婦間暴力			1							4		1					6
軽犯罪																	0
<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>25</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>70</b>

備考欄：  
 リヨン東→Mezrieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons  
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon  
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison  
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

\* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

### [補足文書 2]

#### C, 多発の手口と場所の特定・防止策 (新聞による報道記事から)

##### ① 強盗

今月はスーパーや大型ガーデニング店などの売り上げを狙った強盗が多く見られました。

- 覆面をした5人が7月6日の深夜、アン県のMEXIMIEUXの郵便局に侵入したが、自動保護システムの金庫のために被害はなかった。犯人は逃走し、逮捕されていない。(プログレ紙7月9日)
- 7月3日の深夜同じくアン県MEXIMIEUXのガーデニングの店GAMM VERTに強盗が侵入し、工具や農耕器具などを奪った。(プログレ紙7月9日)
- VILLEURBANNEで覆面をした2人の犯人がタバコ屋・バーに押し入り、売上げを奪ってスクーターで逃走した。(プログレ紙7月1日)
- リヨン北部のGENAYのペットショップに何者かが夜間に侵入し、6匹の子犬を奪って逃走した。(プログレ紙7月1日)
- 7月11日、17時過ぎにリヨン8区のスーパーに覆面をした男が押し入り、売上げの現金を奪って逃げた。(プログレ紙7月13日)
- CIVRIEUX-D' AZERGUESのスーパーに開店直前に2名の犯人が押し入り店員を人質にして金庫を開けさせ、3000ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙7月14日)
- SAINT-ROMAIN-AU-MONT-D' ORのスーパーに7月16日の午後一人の男が刃物をもつ

- て押し入り、数百ユーロを奪って逃げた。(プログレ紙7月18日)
- VILLEURBANNE のガソリンスタンドに7月16日の午後、覆面をした男が刃物をもって押し入り、現金を奪って逃げたが、被害額は少ない。(プログレ紙7月19日)
- 同じく7月16日の午後、VILLEURBANNE の貴金属店に男が押し入ったが、店員に抵抗されて何も奪わずに逃走した。(プログレ紙7月19日)
- 7月20日の夕方、ECULLY のガーデニング店 BOTANIC に犯人が押し入り、店員を人質にして金庫から当日の売上げを奪って逃走した。警察は事件の目撃者を捜している。(プログレ紙7月22日)
- 7月25日の夕方、パールデューの宝石店で、客を装って商品を吟味し、店員の瞬間のすきをつけて9件のネックレスを奪って逃走した。被害額はおよそ8500ユーロ。(プログレ紙7月27日)
- 同じく25日の夜、6区のピザ屋の主人が閉店後に3人の男から暴力・脅迫を受けた。犯人はその後主人のアパートに侵入し、売上げを奪って逃走した。(プログレ紙7月27日)
- 27日の夜、TASSIN のメガネ店に何者かが侵入して、ブランド物のサングラス多数を盗んだ。(プログレ紙7月30日)
- 27日午後、リヨン北部にあるMONTANAYの小さいスーパーに強盗が押し入り売上げを奪った。(プログレ紙7月30日)

## ② 空き巣

今月の報道記事から見られる空き巣被害の大半はいわゆる「ジプシー」と呼ばれる未成年者による犯行が多いと思われます。

- 6月29日、31歳と14歳の2人の女性が7区のアパートに空き巣に入ろうとして逮捕された。(プログレ紙6月29日)
- 7月6日、リヨン3区で12歳と16歳の少女がアパートに空き巣に入ったところを逮捕された。盗んだ貴金属類を所持していた。(プログレ紙7月3日)
- 24日の夜、13歳と22歳の男が第3区の家で空き巣に入ろうとしているところを逮捕された。壁を乗り越えて庭に侵入して地下室への入り口を壊そうとしているところを、隣人の通報で駆けつけた警察に逮捕された。(プログレ紙7月26日)
- 7月17日、20歳の男性が逮捕された。3月31日に学生寮での盗難事件の犯人とみなされている。(プログレ紙7月26日)
- 35歳の住所不定の男が、盗んだ財布に入っていた身分証明書の住所に空き巣に入ろうとして、先回りした犠牲者と鉢合わせになって逮捕された。(プログレ紙7月18日)
- 16歳と17歳の若者二人が15日の夜、VILLEURBANNE のヴィラに侵入しようとして、気づいた70歳の住人が警察に通報して逮捕された。(プログレ紙7月18日)

## ③ すり、盗み

リヨンを訪問する人が増えているなか、下記のように観光客を狙った犯行も増えています。観光地、駅周辺、ホテルのロビーなどが狙われやすい場所となっていますので注意が必要です。

- Vaulx-en-Velin で18日の朝、C3線のバスに乗った男性が居眠りをしているうちに、パソコンの入ったリュックサックを盗まれた。バス内を撮影する防犯カメラにより、その後逮捕されたのは15歳と16歳の若者で、ほんのわずかの隙を狙った犯行。(プログレ紙7月22日)
- 7月22日、住所不定の41歳の男が、67歳のアメリカ人旅行者のかばんを盗んで逮捕された。場所は第2区のファーストフード店内。(プログレ紙7月22日)
- 27日の夜、28歳の男性が Cours GAMBETTA で数人の若者に囲まれ、首に掛けていたカメラを奪われた。若者のグループはその後、2区の路上で逮捕された。(プログレ紙7月30日)

#### ④ 暴力・窃盗事件

- 7月13日朝、Sait-Genis-Lavalの中心街で、38歳の女性が刃物で刺された。数時間後に犯人と思われる、元友人の男が逮捕された。(プログレ紙7月14日)
- リヨン2区のカルノ広場で、25歳の男性に殴ったり蹴ったりの暴力を振るった20歳の男が逮捕された。(プログレ紙7月18日)
- 22歳の男が、VENISSIEUXの駐車場の車からカーラジオ3台を盗んだ疑いで逮捕された。(プログレ紙7月14日)

#### ⑤ カード、小切手に関する窃盗

- VILLEURBANNEの60歳の女性が、他人のカード番号を利用してインターネットで買い物をし逮捕された。買い物の金額は1300ユーロ程度。今年の2月にキャッシングマシンで現金引き出し時に何らかの方法で他人のカード番号を入手した。(プログレ紙6月30日)
- 偽の小切手で車を購入。リヨン東部のCHASSIEUの人がインターネットでAUDIを売りに出したところ、購入を希望する人が現れた。男は4万ユーロの小切手を渡し(銀行の裏書証明付き)、身分証明書も提示したが、全ては偽書類だった。警察の話では同様の詐欺が3週間ほど前にも起こっている。その時は偽小切手の金額はおよそ1万ユーロだった。(プログレ紙7月4日)

### 2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

### 3.在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

### 4.リヨン、ローヌアルプ地方の今月の出来事

#### ① A型インフルエンザの今月の進展

世界的に人々の移動が多くなる夏季バカンスシーズンを迎え、ほとんど毎日A/H1N1型インフルエンザ(豚インフルエンザ)のニュースが報道されています。患者数の増加にともない、政府の対応策も日々変化しており、下記にその進展の経過をまとめてみました。今後も秋口にかけて、学校が始まるとともに急激な進展の可能性もあり、注意が必要です。

- (プログレ紙7月11日) 5月にフランス初の患者が見つかって以来、対応策として全ての患者を入院させる方法がとられてきたが、急激な患者数の上昇を受けてこの方法は6月22日に中止された。インフルエンザを専門に検診するセンターが存在するものの、まず通常の一般医に相談してからその感染と体調などのレベルに応じて振るわけされることになった。また電話番号15のSAMU(救助隊)だけでは対応しきれないのが現状で、患者が急増した場合に、場合によってはホテルなどの宿泊施設

が利用される可能性もある。一般医にマスクなどの用具キットが配られた。

- (プログレ紙7月16日) フランスでの患者数が600人を超えたと政府が発表。また9400万人分のワクチンを発注。幼児や老人、また重症の場合を除いて一般医に相談するように指示した。
- (プログレ紙7月17日) リヨンのP4と呼ばれるウイルス研究で知られるメリュー研究所で同インフルエンザの異変の可能性を研究。またスペインで4人目の死亡者(患者数1222人)。
- (プログレ紙7月17日) フランスのあちこちで夏季のサマースクール、スポーツの集まりなどで感染がひろがりを見せている。世界保健機構は心理的なパニックを防ぐために感染者数の毎日の公表を控える。
- (プログレ紙7月23日) 欧州連合が、ウイルスの急激な伝染に注意を呼びかけた。夏季の人々の移動に伴い、地理的な広がり警戒される。同日の状況では欧州域で、17000人余りが感染し、死亡者英国29、スペイン4、ハンガリー1となっている。現在ではワクチンはなく、最も早く9月に利用可能の予定。欧州ではすでに2億人分が発注されている。しかし、秋からの通常のインフルエンザとの異変の結果、症状が一層重くなる恐れがあるので警戒を呼びかけている。
- (プログレ紙7月24日) 23日から、感染者の受け入れ態勢の中心が重症の場合を除いて病院から一般医に移行した。つまり通常のインフルエンザの対応策と同じだ。同日における状況を数字で見ると：
  - ⇒ 世界136カ国で95000人が感染
  - ⇒ 2009年になって世界で700名が死亡
  - ⇒ フランスの感染793人
  - ⇒ ローヌ県の感染数約40人
  - ⇒ フランスは1億人分近くのワクチンを発注(8億7000万ユーロ)
  - ⇒ 9月にレベル6に引き上げの可能性、9月以降の優先的ワクチン接種のプログラム作成中

## 5.その他の情報

### ① 万一の場合の緊急電話番号

- ★ UNRGENCES VITALES (生命に関わる緊急時) 15
- ★ SOS LYON MEDECIN (緊急医師、24時間) 36 24 (リヨン共同体地域内)
- ★ POMPIER (火災、その他の災害) 18
- ★ POLICE SECOURS (警察、救助隊) 17
- ★ SAMU (救助隊) 15